

関係機関と災害協定を締結

市と有明高原寮は4月16日、「災害発生時における相互協力に関する協定」を締結し、同寮を災害時の避難場所として利用できるようになりました。

同日、興亜化成（株）、HARIO（株）と「災害時における生活物資の供給及び防災教育の支援に関する協定」、（有）電算オフィスオートメーション、HARIO（株）と「地域密着ポータルサイト利用による地域協働事業に関する協定」を締結し、災害時の協力体制や平常時における情報発信や災害教育について連携の強化が図られます。

消防団人事

任期満了により、鳥羽昌弘さんが団長を退任し、副団長の二木弘さんが団長に就任しました。正副団長の皆さんの任期は、4月1日から平成32年3月31日までです。



団長（新任）
二木 弘
（豊科）



副団長（再任）
三澤 博文
（穂高）



副団長（新任）
内川 正明
（明科）



副団長（新任）
布山 利幸
（三郷）



副団長（新任）
田口 広成
（堀金）

新たに地域防災マネージャーを任命



弦巻 祐一

市は防災体制の一層の強化のため、地域防災マネージャーに弦巻祐一さんを任命しました。弦巻さんは元自衛官の経験を活かし、次の業務に携わります。

- ①地域防災計画・防災マニュアルの改定
- ②災害発生時の情報収集及び自衛隊など実働部隊との調整
- ③市民向け協働のまちづくり出前講座の講師など

市政トピックス

■市内での交通事故件数 前年比で71件減少

4月6日から15日まで「春の全国交通安全運動」が行われ、初日の6日、出発式が開催されました。

当日は、市内の交通安全関係機関・団体より約100人が参加しました。宮澤市長は「昨年は関係各位のご尽力もあり市発

足以降、最少の交通事故件数に留めることができた。引き続き安全・安心な地域づくりに一丸となって取り組んでまいりたい」と話しました。

出発式終了後は、会場付近の交差点で、参加者による啓発物品の配布や、のぼり旗の掲揚を

行い、歩行者や運転手に交通安全を呼びかけました。

昨年、市内で発生した交通事故件数は375件（前年比71件減）で、死者数2人（4人減）、傷者数464人（111人減）となっています。



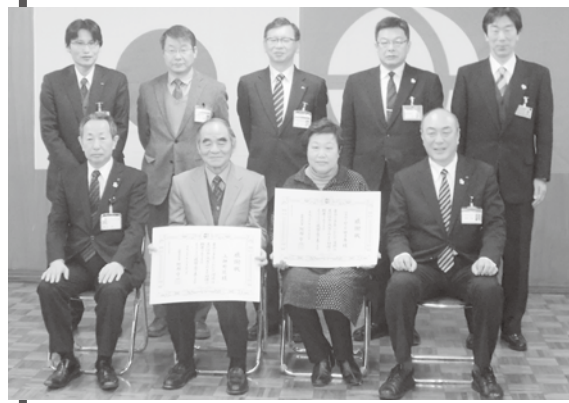
のぼり旗を掲げて啓発する参加者

■地域の力で より良い地域に

美しい道と川のため地道な汗、道路河川愛護活動知事表彰、

多年にわたり、道路や河川の愛護活動を行っている堀金三田のフラワーロード田多井（猿田京子代表）と明科の上押野区（大石昭明区長）がこのほど、平成29年度道路河川愛護活動知事表彰を受けました。

フラワーロード田多井は、平成22年から堀金三田の県道塩尻鍋割穂高線沿道にマリーゴールド



道路河川活動知事表彰伝達式

ドやベゴニアの花を植栽したプランターを設置し、水やりなどの管理を継続的に行っています。

また、明科の上押野区は、平成13年から高瀬川河川敷にある親水公園で花壇を整備し、公園内のマレットゴルフ場利用に併せた清掃活動にも積極的に取り組んでいます。

3月8日には安曇野建設事務所代表表彰伝達式が行われ、両代表者は、今回の表彰を活動の励みにすると話していました。



土砂災害防止活動知事表彰伝達式

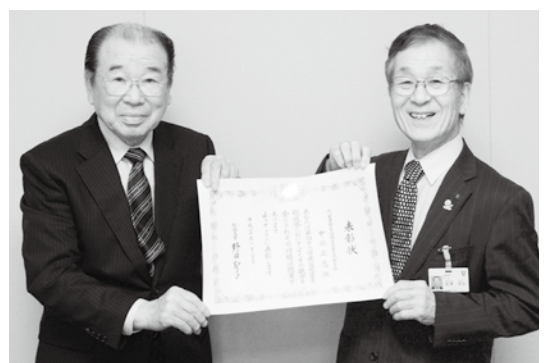
砂防施設を地元区で清掃、土砂災害防止活動知事表彰、

長年にわたる土砂災害防止活動の功績が認められ、明科七貴の荻原区（小出芳正区長）がこのほど、平成29年度知事表彰を受けました。

荻原区は、平成12年度から蜂ヶ沢砂防学習公園と砂防施設周辺の維持管理活動に取り組み、毎年春秋2回の草刈りと清掃活動を地域住民で実施し、砂防施設の維持管理に大きな貢献をいただきました。3月7日には、犀川砂防事務所の前川所長より知事からの感謝状が手渡され、「地元の小学生も砂防学習に使う施設。ご尽力に感謝します」と称えられました。

衆議院議員総選挙の公正な管理執行に尽力、総務大臣表彰、

市選挙管理委員会の中田正志元委員長（三郷小倉）が、昨年10月の衆議院選挙で公正な管理執行や明るい選挙の推進に尽力したとして、総務大臣表彰を受けました。この衆議院選挙は、



宮澤市長に受賞の報告をする中田元委員長（左）

市長・市議選挙の翌週に行われたため、期日前投票の期間が重なり、5種類の投票管理を同時に行う必要がありました。円滑に対応されたことが評価されました。市内投票率は全国平均を約7・1%上回る60・74%という結果でした。

中田元委員長は、平成21年から同委員として、平成25年からは委員長として選挙管理に尽力しました。

4月23日には、宮澤市長に受賞を報告。「選挙事務に関わった全ての人でいただいた賞」と受賞を喜びました。